



ご入学・進級おめでとございます

今年度から一丘中学校校長として着任しました、加藤 貴文と申します。どうぞよろしくお願いたします。

春の訪れが感じられる中、本校では4月7日に入学式を行い、75名の新しい仲間を迎えました。多くのご来賓、保護者のみなさまにご参列いただき、ありがとうございました。新入生のみなさんには、授業や行事などさまざまな場面で活躍し、自らを成長させ、一丘中学校をさらに素晴らしい学校にしてもらいたいと思います。

そして、新2年生、新3年生のみなさんは、いよいよ新しい学年がスタートします。2年生は、文字通り学校の中心となります。さまざまな活動がもっとも充実する時期ですので、どんどんチャレンジしていきましょう。3年生は学校のリーダーとなります。下級生を引っ張りつつ、次の世代に引き継ぐための準備、そして何よりも自身の進路選択に力を入れていってください。

「教室はまちがうところだ」

新しい年度の始まりにあたって、詩を一つ紹介させていただきます。入学式でもお話ししました、「教室はまちがうところだ」という詩です。作者の蒔田晋治さんが中学2年生の担任をしていたときに、学級新聞に載せたものが元になっているそうです。入学式では少ししか紹介できませんでしたが、ここに全文を載せておきます。

「教室はまちがうところだ」 蒔田晋治

教室はまちがうところだ みんなどしどし手をあげて
まちがった意見を 言おうじゃないか まちがった答えを 言おうじゃないか
まちがうことをおそれちゃいけない まちがったものをわらっちゃいけない
まちがった意見を まちがった答えを ああじゃあないか こうじゃあないかと
みんなで出しあい 言いあうなかで ほんとのものを見つけていくのだ
そうしてみんなで伸びていくのだ
いつも正しくまちがないの 答えをしなくちゃならんと思っ
そういうとこだと思っっているから まちがうことがこわくてこわくて
手もあげないで小さくなって だまりこくって時間がすぎる
しかたがないから先生だけが 勝手にしゃべって 生徒はうわのそら
それじゃあちっとも伸びてはいけない
神様でさえまちがう世の中 ましてこれから人間になろうとしているぼくらが
まちがったって なにがおかしい あたりまえじゃないか
うつむきうつむき そうっとあげた手 はじめてあげた手

先生がさした どきりと胸が大きく鳴って どつきどつきと体が燃えて
 立ったとたんに忘れてしまった

なんだかぼそぼそしゃべったけれども なにを言ったかちんぷんかんぷん
 私はことりとすわってしまった

体がすうとすずしくなって ああ言やあよかった こう言やあよかった

あとでいいこと浮かんでくるのに それでいいのだからいどもいども

おんなじことをくりかえすうちに それからだんだんどきりがやんで
 言いたいことが言えてくるのだ

はじめからうまいこと言えるはずないんだ

はじめから答えが当たるはずないんだ

なんどもなんども言ってるうちに まちがううちに

言いたいことの半分くらいは どうやらこうやら言えてくるのだ

そうしてたまには答えも当たる まちがいだらけの僕らの教室

おそれちゃいけないわらっちゃいけない 安心して手をあげろ 安心してまちがえや

まちがったってわらったり ばかにしたりおこったり そんなものはおりゃあせん

まちがったってだれかがよ なおしてくれるし教えてくれる

困ったときには先生が ない知恵しぼって教えるで そんな教室作ろうや

おまえへんだと言われたって あんたちがうと言われたって

そう思うだからしょうがない だれかがかりにもわらったら

まちがうことがなぜわるい まちがってることわかればよ

人が言おうが言うまいが おらあ自分であらためる

わからなけりゃあそのかわり 誰が言おうとこづこうと おらあ根性まげねえだ

そんな教室作ろうやあ



学校でもっとも多くの時間を占めるのが、授業です。その授業が生徒のみなさんにとって、
 ただしんどい、苦しいだけのものでは学校が楽しくなるはずがありません。もちろん先生方も学
 ぶことが楽しいと思える授業ができるようがんばりますので、生徒のみなさんも「当事者」と
 して、一緒に授業をつくる気持ちで取り組んでもらえると嬉しいです。